

里二十一町四十二間 小田郡入江新田三十四度二十九分半、一里二十四町一十三間 笠岡
村至仁王堂町四町二十間、北極高三十四度三十一分 五里二十五町五十三間至國界三里二町三十三間半 備後國深津郡引野村

〔延喜式兵部二十八〕諸國驛傳馬〇中

備中國驛馬津峴、河邊、小田、後月各廿疋

建置沿革

〔日本國郡沿革考山陽道〕備中 古作吉備中國仁德 或吉備中縣國造 上國管十一郡延喜式九郡 百八十四村、

上房二十七村 延喜式等不載、拾芥抄、阿賀三十四村 英賀延喜式等作英賀 哲多二十九村 川上五十四村 延喜式

等不載、拾芥抄、一說載之、小田七十一村 後月三十六村 安下道十七村 古下賀陽十七

八村古加夜國、見國造記、應神紀作香屋、舒明紀作蚊屋、後爲郡、延喜式、和名抄作賀夜、正德二年四月令自今宜書賀夜、而今仍作賀陽 郡宇四十三村 淺口九村

窪屋四十六村

〔日本地誌提要五十四〕沿革 古へ國府ヲ賀陽郡ニ置今八田部村國 鎌府ノ初、土肥實平梶原景

時ヲシテ守護タラシム、元弘中、高橋英光守護トナリ、松山城ニ居ル、足利尊氏反シテ山陽ヲ徇

へ、高師秀師泰ノ子ヲ以テ守護トナス、正平中、山名時氏、吉野ニ歸順スル、州ノ豪族秋庭重明之ニ應

ジ、共ニ師秀ヲ逐ヒ、重明守護代トナリ、松山ニ居ル、天授中、足利義滿、細川頼之ヲシテ守護ヲ兼

テシム、應永中、其弟滿之職ヲ襲ギ、井山ニ治ス上房 二子基之、滿重相繼ギ、滿重ノ孫勝久ニ至リ、

文明明應ノ際、細川秋庭二氏皆衰へ、莊元資ハ猿掛小田ニ據リ、三村宗親ハ成羽ニ在リ、各統屬

スル所ナシ、永正六年、上野頼久、秋庭ニ代テ守護代トナリ、松山ニ居ル、十二年、將軍義種、細川政

春ヲ以テ守護ニ補シ、鴨方淺口ニ治ス、既ニシテ大内尼子二氏各入侵シテ、尼子氏遂ニ西北諸

郡ニ據ル、天文二年、莊爲資、上野氏ヲ滅シ、徙テ松山ニ居リ、小田下道、上房三郡ヲ併ス、二十二年、

三村家親宗親ノ子、毛利元就ニ附シ、穗田爲資猿掛ヲ攻テ之ヲ降シ、川上小田二郡ヲ取ル、永祿三年、